病　院　だ よ り　2018年2月号　第363号

昭和大学病院　検索

昭和大学病院附属東病院　検索

発　行　昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者　昭和大学病院長　板橋 家頭夫
編集責任者　広 報 委 員 長　中村 清吾
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
ＴＥＬ：03-3784-8000（代表）

90th SHOWA University 至誠一貫 since 1928

巻頭言　初期臨床研修医２年次代表　柴田　隆佑先生

2016 年 4 月より昭和大学病院で臨床研修医として勤務している柴田隆佑と申します。昭和大学出身であり、学生の実習時よりこの病院で学ばせていただいております。経歴にも書きましたが、鹿児島県出身です。今年の NHK 大河ドラマは地元の英雄である「西郷どん」であり、大変楽しみにしております。視聴率が低いのが残念でありますが･･･。ところで、今月は平昌オリンピックがありますね。日の丸を背負った選手の活躍を願っております。

【柴田　隆佑先生】

＜経歴＞

1990 年鹿児島県生まれ。2010 年昭和大学医学部入学。2016 年に同大学を卒業。同年より昭和大学病院で臨床研修を開始。

＜好きな言葉＞

「てげてげ」（鹿児島弁でほどほどの意味であり、言葉の響きも含めて好きです。）

＜あなたにとって医療人とは＞

専門的な知識や技術を学びつつ、真摯に仕事にのぞむ人です。

～2 年間の初期臨床研修を通じて～

私も含め研修医は 1～2 ヶ月ごとに様々な科を 2 年間で回り、学ばせていただいております。戸惑いつつもローテートする各科に慣れ、各科の魅力を感じた頃にまた次の科を回る･･･この繰り返しで、いつの間にか初期臨床研修の 2 年間が経とうとしています。

最初の頃は右も左も分からず、悩むことが多かったです。特に、周りの同期ができていることを自分がうまくできない時は落ち込みました。そこで、自分が不器用なことを受け入れ、その分人より一生懸命に頑張ろうと切り替えました。それから少しずつではありますが、できることも増え幾分か仕事に慣れていきました。30 人を超える同期の影響力は思っていたよりも大きかったです。

充実した研修生活を送っていますが、同期以外にも様々な方と関わらせていただいております。患者さん、患者さんのご家族、先輩医師や指導医の先生、様々な職種のメディカルスタッフの方々にはご迷惑をかけた時もありましたが、成長する機会をたくさんいただきました。皆様のおかげで研修前の自分と比べると明確に成長はしていると思います。

一方で、まだまだ未熟であり勉強することがたくさんあることを痛感しています。まだ私の研修は終わっていません。残りの研修も目の前のできることに対して１つずつ全力で取り組んでいこうと思います。

最新の医療技術とともに、患者さんの目線で考え、満足していただける高度医療を提供

診療体制

当科は耳鼻咽喉科疾患、頭頸部腫瘍を広く扱っています。中耳炎・難聴、補聴器、鼻・副鼻腔疾患、嗅覚障害、平衡覚、音声の専門外来があり、それぞれの領域の専門医が担当しています。手術日は週のうち３日間で、年間約 900 件の手術を行っています。積極的に光学機器を用い、患者さんへ侵襲の少ない手術を行っています。頭頸部の良性腫瘍、悪性腫瘍は頭頸部腫瘍センター所属医師の専門外来にて　　診断、治療、経過観察を行っています。

特徴的な治療領域

耳科領域

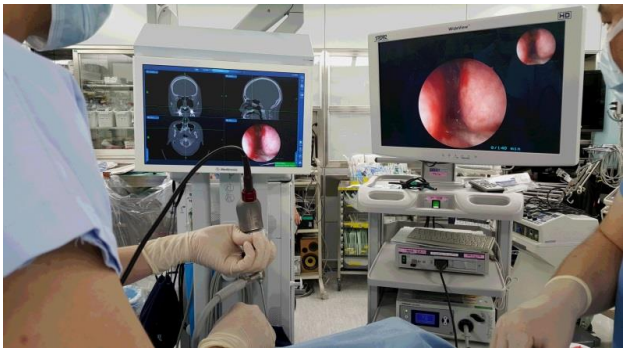
- 難治性の中耳炎例に対する鼓室形成術、耳硬化症に対するアブミ骨手術

難聴疾患

- 各種の聴覚検査・治療・聴覚管理、適応があれば補聴器外来で補聴器の選択調節また、副腎皮質ステロイドホルモン薬の鼓室内投与なども対応

鼻／副鼻腔疾患

- 好酸球性副鼻腔炎などの難治例に対して、ナビゲーションシステムを使用した内視鏡下鼻副鼻腔手術



- 嗅覚障害は各種嗅覚検査を行い、保存的治療と適応例には積極的に手術をお勧めしています。

頭頸部腫瘍

- 頭頸部腫瘍センターにおいて耳鼻咽喉科医師、口腔外科歯科医師が共同で診断、治療にあたります。

耳鼻咽喉科　診療科長：小林　一女（Kobayashi Hitome）
趣味：山歩き

当科は、耳鼻咽喉科･頭頸部外科のほぼ全領域を網羅しています。お困りの患者さん、手術適応の患者さんがおられましたら是非ご紹介下さい。扁桃周囲膿瘍、急性喉頭蓋炎など、緊急入院が必要と思われる場合、事前に電話などでご連絡頂けますと、早く対応ができます。当科で入院治療、手術を行った患者さん、治療方針が確定し状態が安定した患者さんは、紹介元の先生、近隣の先生に術後の経過観察や、その後の治療をお願いしており、地域の先生方との緊密な連携を図っています。

専門外来のご案内　耳鼻咽喉科の専門外来

耳鼻咽喉科領域における幅広い専門外来をおこなっています

専門外来	診療内容	診察曜日
口唇口蓋裂外来	口唇口蓋裂例の聴覚管理（中耳炎の診断、治療）を行います。	月曜日:午前
言語外来	難聴や言語発達の遅れのある主に乳幼児の患者さんが対象です。	月曜日:午後
補聴器外来	補聴器装用の希望の患者さんが対象です。複数名の補聴器相談医が在籍し、患者さんに合った補聴器を適合するお手伝いをさせていただきます。	月曜日:午後
頭頸部腫瘍外来	頭頸部の良悪性腫瘍に対し、耳鼻咽喉科・口腔外科医師が連携して診断・治療を行います。	火曜日:午後
嗅覚外来	ニオイが分からない、あるいは今までと異なるニオイに感じるなどの症状の方に対して、嗅覚検査、画像診断をおこない、診断治療を行います。	水曜日:午後
アレルギー外来	症状の問診、鼻粘膜の腫脹の程度、血液検査などにより診断を行います。また、アレルギー性鼻炎に対する免疫療法なども行っています。	水曜日:午後
めまい平衡外来	めまいやふらつきを起こす原因は様々であり、当外来では耳鼻科領域のめまいを中心に、平衡機能検査や治療を行っています。	木曜日:午後
嚥下外来	嚥下障害患者さんに対して内視鏡検査や造影検査を行い、嚥下手術の適応について検討、治療方針を決定します。	木曜日:午後
中耳炎外来	中耳炎で手術希望のある患者さん、手術適応のある患者さんが対象です	金曜日:午後
難聴外来	難聴、耳鳴り、耳閉塞感などの症状のある患者さんが対象です。	金曜日:午後

予約の手続きについて

◆外来日：月～土曜日へお越しください。耳鼻咽喉科初診、頭頸部腫瘍初診へご案内いたします。
◆原則、「紹介状」が必要です。紹介専用予約ダイヤル（03-3784-8419）へお電話いただき、専門外来のご予約をお取りください。直接来院でも受診可能です。

開催案内　第８回「旗の台消化器センター地域連携フォーラム」開催のご案内

下記日時にて第８回旗の台消化器センター地域連携フォーラムを開催致します。ご興味のある医療関係者の方々は是非ご参加ください。

日　　時：平成 30 年２月 27 日（火）19 時 30 分 ～
場　　所：目黒雅叙園 2F 「シリウスの間」
会　　費：1,000 円
講演内容：『医師会からの興味ある紹介症例について』　内視鏡センター　センター長　山村 冬彦
『炎症性腸疾患の最近の知見』　消化器内科　准教授　竹内 義明
『教室における胃癌に対する内視鏡外科手術の現状』　消化器･一般外科　助教　伊達 博三
『当科における消化器癌に対する内視鏡治療最前線』　消化器内科　講師　片桐 敦

問い合わせ先　医療連携室（電話：03-3784-8400）

今月の熱血医療人　Vol.17「作業療法士」

～このコーナーでは専門資格を有している熱血メディカルスタッフの方を紹介します～

Q. どういった専門資格でどういった仕事をしているのか。

作業療法士とは、食事や更衣、家事などの日常生活動作ができるよう、活動などを通して、体とこころのリハビリテーションを行う専門職です。病気やけがなどで、今まで通りの生活が難しくなった方に対して、退院後その方がどのような生活を描き、そのために必要なことは何かを相談します。その上で、１人１人に合わせた目標を立て、自宅に帰るための練習を行います。また、入院生活で体力が落ちてしまわないように、体力や筋力維持・向上のための訓練を行い、退院後の生活が過ごしやすくなるように準備をしていきます。

Q. 患者さんに対してのメッセージをお願いします。

リハビリテーションセンターには、理学療法(PT)・作業療法(OT)・言語聴覚療法(ST)の３つがあり、そのなかの１つに属しています。現在、作業療法士は昭和大学病院に７名・東病院に３名が勤務しています。病気やけがをすると、今後の生活に不安を抱える方が多いです。患者さんや家族と話し合いながら目標を決め１つでも多く、できる動作を増やし不安を自信に変えるお手伝いができるよう努めていきますので、よろしくお願いいたします。

【作業療法士の皆さん】

部署 PR コーナー　No.2「放射線室」

放射線室だより

放射線室　大澤　三和

“骨塩定量検査（DEXA）”ってどんな検査ですか？

わが国において、急速に進む高齢化に伴い、骨粗しょう症の患者さんも増加しているといわれております。骨粗しょう症とは、骨がもろく（低骨量と微細構造の異常）なり、骨折しやすくなる病気のことをいいます。骨がもろくなると、転んだ時やつまずいた時に手や肘をつくなどのわずかな衝撃でも骨折してしまうことがあります。骨粗しょう症は、痛みなどの自覚症状がないことが多いとされ、定期的に骨密度検査を受けるなどして確認することが必要です。骨粗しょう症を診断する検査のひとつが“骨塩定量検査（DEXA）”です。

■骨塩定量検査（DEXA）はどこを検査するの？

骨粗しょう症の患者さんが、骨折しやすいといわれている部位の検査をします。当院では、大腿骨近位部（股関節）、椎体、橈骨遠位端（手関節）、全身の４部位の検査が可能です。医師の指示のもと、目的に応じて2～4部位を診療放射線技師が検査します。また、検査時間は15～30分程度です。ベッドに仰向けに寝て頂き、Ｘ線装置が自動的に体の上を移動し骨密度を測定します。

■検査を受けるにはどうすればいいの？

整形外科やリウマチ・膠原病内科をはじめ、どの診療科でも検査の依頼が可能です。かかりつけの先生にご相談ください。また、近隣の病院からの検査もお受けしております。ご依頼の際は、地域連携室までご相談ください。

羽ばたけ未来の医療人　No.1「入職１年目 事務部　管理課」

新しいコーナーが始まりました！！

今月は「**入職１年目 事務部　管理課**」のこの方をご紹介します。

【住谷　かおりさん】

～一問一答～

Q 事務職員を目指した理由を教えてください。

大学在学中にスポーツサークルのマネージャーを務めていた経験から、相手のことを考え、支える仕事がしたいと感じたためです。また、在籍していた法学部での学びが、自身にとって非常に価値のあるものであったため、大学という高等教育機関に興味を抱いたことも理由の一つです。

Q 現在、管理課でどのような業務をしていますか。

院内外から届く各種文書の決裁処理や、調査の対応などが主な業務です。調査は他部署との連携を要するものが多々あり、事務という立場でも、多職種で支えあうことの意義が感じられます。また、研修医や「がん」の担当でもあるため、研修を滞りなく行うための手続きや、がん関係の行事の準備といった業務もあります。

Q 今後、どのような職員を目指しますか。

日々業務に取り組む中で、様々な点で疑問や改善意識を持つことのできる職員を目指したいと思います。当院では、今年の１月１日より電子カルテへの移行が行われ、大きな変革となりました。私は殆ど関与しておりませんでしたが、先輩や上司の方々の姿を見て、改革の一端を担うことの偉大さを感じました。まずは、今担当している業務への理解を深め、改善点や工夫を少しずつ見つけていきたいです。

開催報告　J-CIMELS 公認講習会が行われました

12 月 24 日（日）に、東京都区南部を中心とした院内・院外の産婦人科医師、助産師、看護師を対象に日本母体救命システム普及協議会（J-CIMELS）公認の母体救命講習会を開催しました。母体救命に関する講義とシナリオシミュレーションで頭と身体を動かす４時間の実習コースです。当日は、院内・院外の救急医、麻酔医も参加して、熱気あふれる講習会となりました。

当院は、都内で母体救命が必要な妊産婦が発生した場合には無条件で患者を受け入れる母体救命対応型総合周産期センター(スーパー周産期センター)の指定を受けています。重篤な妊産婦が救急搬送されてきた場合には多職種が連携して最大限のパフォーマンスを発揮できるように備える必要があり、そのためにもこのような講習会を定期的に開催する予定です。

次回開催予定：
2018 年３月１７日(土)
昭和大学旗の台キャンパス
１号館５階会議室にて

【当日の様子】

お知らせ　最終講義が行われます

平成 30 年３月末で定年退職される先生の最終講義が下記の通り開催されます。

日時：平成３０年３月 17 日（土）１３：００～16：00

場所：昭和大学病院入院棟地下１階　臨床講堂

講演者：法医学講座　　佐藤　啓造教授(１3:00～１3:30)
衛生学公衆衛生学講座　中館　俊夫教授(１3:30～１4:00)
昭和大学病院　板橋　家頭夫病院長(14：00～14：30)
小児外科　　土岐　彰教授(14：30～15：00)
眼科　　高橋　春男教授(15：00～15：30)
腫瘍内科　　佐々木　康綱教授(15：30～16：00)

多くの皆様のご参加をお待ちしております。是非ご来聴ください。

開催報告　院内コンサートが行われました

2017 年 12 月 16 日（土）に、中央棟１階ロビーにて、12 月恒例のクリスマスコンサートと称し、第 83 回昭和大学病院院内コンサートが開催されました。出演者のムーランさんは、大病を患った後に歌の活動をはじめ、今回のコンサートでも前向きになる元気をもらった方も多かったのではないでしょうか。素敵な大人のクリスマスという雰囲気がぴったりな時間でした。

昭和大学病院で行われた院内コンサート

～患者さんからのコメント～

♬ムーランさんの 21 年間にわたる活動、感動させてもらった。77 歳になったが頑張って、2020 年のオリンピックを迎えたいと思う。

♬がんと告知されたばかりで、ムーランさんの話で元気が出た。頑張ろうと思う！

また、昭和大学病院附属東病院では、12 月 22 日（金）３階デイルームにて、第 26 回昭和大学病院附属東病院院内コンサートが開催されました。出演は３回目となります「カンタービレ６」の皆さんで、患者さんと一緒に歌い、簡単な楽器は患者さんも一緒に演奏したりと、クリスマスを満喫した楽しい時間でした。

附属東病院で行われた院内コンサート

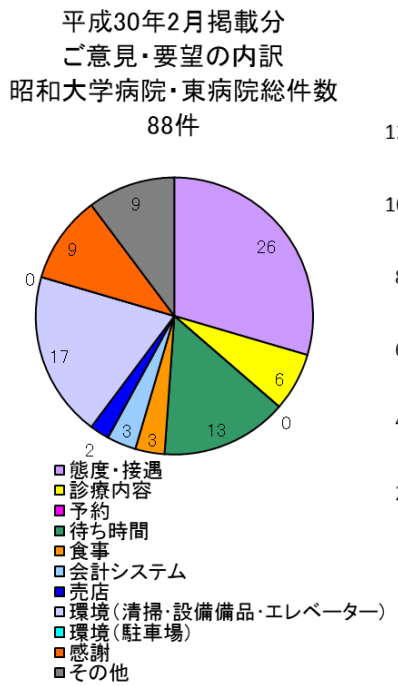
～患者さんのコメント～

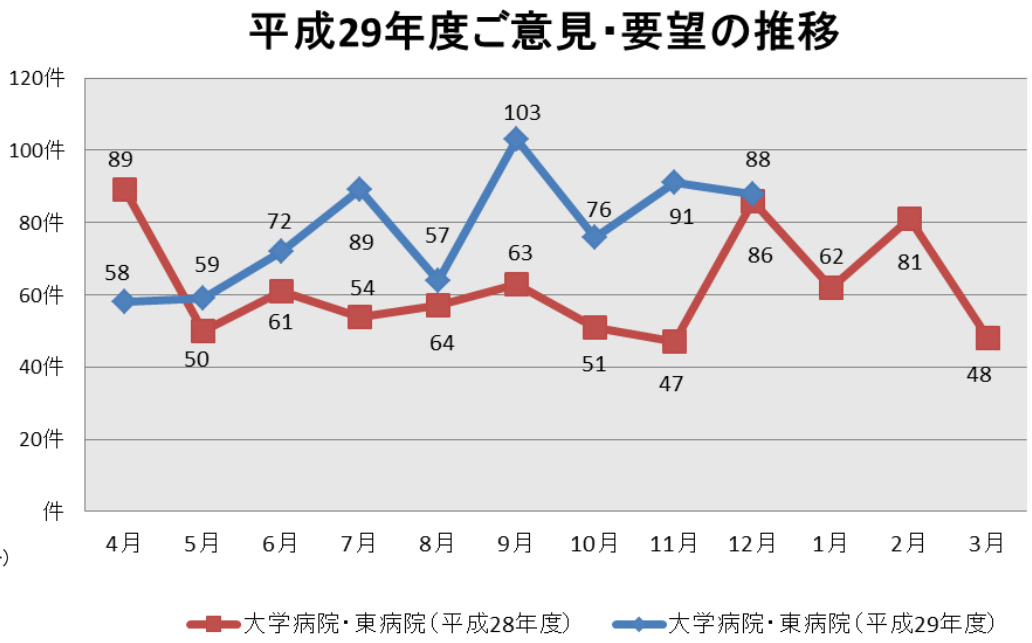
♪とっても楽しかった。１時間ぐらいやってほしかった。

♪3 泊４日の入院だったので楽しませてもらった。

患者さんのご意見・ご要望

ご意見・要望	回答	回答部署
化学療法の精算も自動精算機でできるようにしてほしいです。	この度は、ご不便おかけし申し訳ございません。 化学療法のお会計については、診療内容を確認して請求書を作成する必要があります。そのため自動精算機はご利用いただくことが出来ません。ご不便おかけして申し訳ございませんが、ご理解くださいますようよろしくお願い致します。	医事課
８：30 の外来予約のため８：15 に再来受付したのに、実際に診察に呼ばれたのが８：45 過ぎで 30 分以上待たされました。	外来の予約時間について説明が不足し申し訳ございません。 外来予約については、30 分ごとに「１枠」として区分けしており、診療を「開始」する時間ではございません。 この「１枠」の中で数名の患者さんの診察を行っております。 例えば、「予約時間が１３：００」の場合は、１３：００～１３：３０の間で診察を行う予定であることを示しています。 当説明については再来機や外来各階の掲示板にも詳細を掲示しておりますので、ご確認いただけますと幸いです。	管理課
点滴が終わり、重湯から三分粥⇒五分粥⇒全粥への流れ、それと副菜も含めて見事でした。感動しました。	入院食に対してお褒めのお言葉をいただきありがとうございます。今後も喜んでいただける病院食を提供できるよう努力してまいります。	栄養科





イベント情報　院内コンサートについて

【昭和大学病院附属東病院第 27 回院内コンサート】
日時：平成 30 年２月２３日（金）15：00～15：30
場所：昭和大学病院附属東病院３階デイルーム
演目：ラリュー（フルート三重奏）

編集後記　看護部　荒川　千春

年が明けてあっという間に２月になりました。１月１日からの電子カルテ導入もあり例年にない時間の早さを感じましたが、皆様はいかがでしょうか。ところで、２月３日は『節分』です。節分とは本来、「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節目を指すそうで、もうすく春がやってきます。節分には豆をまきますが、豆は「魔滅（まめ）」に通じ、無病息災を祈る意味があります。まだ寒い日が多いでしょうが、邪気を払い、元気に過ごしていきましょう。

昭和大学病院･附属東病院の理念

- 患者さん本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

ご意見・要望につきましては、メールアドレス：tayori@ofc.showa-u.ac.jp までお願いいたします。

病院広報委員会委員：　荒川 千春、飯田 真由、磯飛 雄一、稲垣 克記、大嶽 浩司、佐藤 久弥、白井 敦、鈴木 隆、中村 清吾、平野 勉、結城 祐磨、吉田 仁、渡邊 聡（50 音順）